



Cat[®] 725

アーティキュレートトラック

CAT[®] 725は、オペレータからのフィードバックに基づいて設計された世界トップクラスのキャブを採用しており、快適性と操作性を向上させています。ホイストアシストシステム、先進自動トラクションコントロールシステム、リターダ自動制御、スタビリティアシスト、横転保護、高さ制限機能、自動待機ブレーキなどの機能を備えています。

定評ある信頼性

- CAT C13Bエンジンは、定評ある信頼性をさまざまなプラットフォームで発揮します。
- 地形に基づくスロットルコントロールによって、起伏の多い地面でもスロットル入力が滑らかになり、乗り心地が向上します。
- 設計の共通化と簡素化を通じて信頼性が向上し、長いオーバーホール間隔が実現します。
- 排気システムへの影響が最小化されていて、卓越した応答性と十分な出力が得られます。
- 油圧リターダによって、制動レスポンスと制動力が向上しているので、下り坂でも安定した運転ができます。

耐久性

- すべての構造とコンポーネントが、広範な試験と豊富なお客様の経験を通じて実証されています。
- 高機能サスペンションによって、起伏の激しい路面でも速度が向上し、衝撃負荷が軽減されます。
- フロントサスペンションは±6度揺動し、滑らかな乗り心地を実現します。
- 優れたフレーム設計によって、ねじれ負荷に対応でき、ヒッチ部への応力が減少し、サスペンションの形状が最適化されています。
- フレームはロボット溶接されており、最高レベルの耐久性を実現しています。
- 前進から後進または後進から前進へ素早く切り替える際には、方向シフト保護によってパワートレインが保護されます。
- ダンプボディの設計により、サイドレールの上端が強化されています。

生産性の向上

- 先進自動トラクションコントロール (AATC) によって、ホイールのスリップが低減され、最高のトラクションと生産性の向上が実現します。オペレータの操作なしで、完全に自動で作動します。
- リターダ自動制御 (ARC) により、オペレータによる操作なしにリターダを制御できます。作業の開始から終了まで完全に自動化されています。
- Caterpillar独自のホイスト/トランスミッション統合レバーによって、トランスミッションレバーに複数のコントロールが配置され、パーキングブレーキが組み込まれているため、オペレータの操作が50%も軽減されます。
- トラックの絶縁を解除したり、キャブドアを開けたりすると、車両ウェイクアップによって車両システムが始動します。
- 排気筒の高さが抑えられているため、全体の車高が低くなり、排気筒を取り外さずに輸送できます。

燃料効率の向上

- ボタン1つで作動できるエコノミーモードを使用すると、生産性に影響を与えることなく燃料消費量を削減できます。
- この車両設計によって、メンテナンスコストを最低限に抑えながら、同等の優れたパワーと応答性を達成して、燃費の向上を実現します。
- 画期的な吸排気管理システムにより、エアフローが最適化され、出力と燃料効率がさらに向上しています。
- 完全に自動化されたリターダ制御により、オペレータによる操作が無くても、エンジンの過回転を防止でき、パワートレインコンポーネントを保護できます。

操作が容易で、オペレータが快適に過ごせる環境

- コントロールやディスプレイのレイアウトがシンプルで直観的なため、オペレータは、車両の安全運転と生産性の維持に集中することができます。
- オプションシステムでは、4台の独立したカメラを使用して機械周辺に対するオペレータの視界を向上するとともに、一体型検出システムが視覚的要素と音声の両方で警告を発し、近くにある障害物の存在を知らせます。
- HVACシステムがプライマリディスプレイで管理され、ジョグダイヤルやタッチスクリーンで制御できるようになり、オペレータの利便性が向上しています。
- 優れた視界と振動の低減を実現し、簡単に折りたたむことができるキャブ取付け式のミラー。
- 前方の視界を確保するミラーによって、車両のすぐ前方の視認性が向上します。
- タッチスクリーンを使用して、システムのモニタリングと調整を簡単に行うことができます。
- スライド式ウィンドウにより、換気や対話が容易になります。
- キャブには日常アイテム専用の収納ソリューションを備え、オペレータの利便性と整然とした空間が確保されるとともに、作業スペースが広がり、快適性が向上します。

作業をやり遂げるためのテクノロジー

- 集中制御システムにより、事実に基づいた判断を適時に下すことができ、効率の最大化、生産性の向上、コストの削減につながります。
- Product Link™システムで各車両をワイヤレス接続し、車両の位置、稼働時間、燃料消費量、生産性、非稼働時間、診断コードを監視できます。
- 外部ペイロードインジケータランプが積載をやめるタイミングを積込機に知らせるため、過積載のリスクを減らすことができます。
- スタビリティアシストソフトウェアは、万一、車両の転倒が発生した場合に、オンラインのVisionLink™を介して情報を報告するため、車両の履歴を認識しやすくなります。
- 積載質量テクノロジーの改良により、オペレータは統合されたディスプレイでリアルタイムの積載質量を確認することができます。最新のソフトウェアとセンサにより、正確なデータが提供されます。

組み込みの安全機能

- 独自の安全機能である横転保護は転倒防止に役立ち、すでに実績のあるCAT Detectスタビリティアシストと連動して、機械の転倒イベントにともなう休車時間と安全修理を削減します。
- 車両の運転中にシートベルトが装着されていない場合、シートベルトインジケータが音声と視覚による警告を発します。
- ギヤが入り、オペレータが着座していない場合、オペレータ着座検知システムがパーキングブレーキを作動させます。
- 万一、メインブレーキ回路とセカンダリブレーキ回路の両方が故障した場合は、キャブ内緊急停止ブレーキスイッチにより車両を安全に停止できます。
- 一体型ペイロードランプ (CAT PAYLOAD モニタリング (CPM) オプションが装備されている場合) は、キャブルーフのすべての隅にある広角ビームライトと共に、積込みツールオペレータおよび現場監督者に優れた視認性を提供します。
- プライマリシステムで低圧が感知されると、セカンダリステアリングが自動的に作動します。
- 燃料補給および尿素水 (DEF) 補給タンクに地上からアクセスできます。
- 坂道発進アシスト機能により、登坂路での後退を防ぎます。
- ニュートラルギヤ選択時にボタンを押すと、自動待機ブレーキによってサービスブレーキが作動し、排出中や積込み中に車両を素早く簡単に制御できます。

メンテナンスコストを削減

- 耐久性に優れた柔軟なフェンダにより、修復不能な損傷のリスクが下がるため、修理費用を抑えることができます。
- 耐久性を追求した設計と整備のしやすさにより、アップタイムの最大化と整備コストの低減を実現します。
- ユニバーサルジョイントは常に潤滑されているため、メンテナンスは不要です。
- 冷却水の配合によって腐食が減り、コンポーネントの寿命が延びます。
- サイドに傾斜できるキャブ、電動式ボンネット、アクセスパネル、CATデータリンクコネクタにより、メンテナンスが容易になるように車両全体が設計されています。
- 整備間隔が延長され、エンジンは1,000時間、トランスミッションは2,000時間になりました。従来モデルの2倍となり、結果的に機械保有経費が削減されます。

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
運転席			電気系統と照明(続き)		
エアコンディショニング	✓		照明システム:- キャブ室内灯- ヘッドランプ2個- 車幅マーカ-2個- 後進ライト2個- 作業ライト/キャブ昇降灯- ストップ/テールライト2個- フロント/リア方向指示器	✓	
自動待機ブレーキ	✓		メインディスコネクトスイッチ	✓	
ホイストコントロール統合型ギヤセレクトレバー	✓		ルーフ取付けLED作業灯		✓
電子取扱説明書	✓		パワートレイン		
CAT®リアビューカメラ付き10インチタッチスクリーンディスプレイ	✓		自動シフト前進6速と後進1速のトランスミッション	✓	
4速ファン付きヒータおよびデフロスタ	✓		CAT C13Bエンジン	✓	
赤外線ガラス、酷暑仕様用キャブ		✓	CX31トランスミッション	✓	
ミラー、エクステリア	✓		クリーンエミッションモジュール (CEM、Clean Emission Module) および排出ガスアフタートリートメントパッケージ	✓	
ヒータ付き電動ミラー		✓	ディファレンシャル: 自動クラッチ付きインターアクスルおよびクロスアクスルディファレンシャルロックを標準装備	✓	
車両作動モニタリングシステム	✓		デュアルサーキット密閉湿式ブレーキ - 全輪	✓	
オペレータシートベルト、4点支持		✓	リターダ: エンジン圧縮ブレーキ	✓	
ラジオ、Bluetooth®ステレオシステム		✓	3アクスル (6輪駆動)	✓	
シート: オペレータ用 - 完全調整可、エアサスペンション、巻取り式シートベルト付き、トレーナ用 - パッド入り、巻取り式シートベルト付き	✓		安全		
ヒータ/クーラ付きシート		✓	ボディ高さ制限	✓	
マルチビューカメラ用セカンダリディスプレイ		✓	横転保護	✓	
セカンダリステアリング - 電気油圧式	✓		機械速度制限	✓	
セカンダリタッチスクリーンディスプレイ		✓	後退アラーム	✓	
サンバイザ	✓		転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure) / 落下物保護構造 (FOPS、Falling Object Protective) キャブ	✓	
チルト/テレスコ機能付きステアリングホイール	✓		ガード		
キャブフロントウィンドウワイパおよびウォッシャー、2段変速、間欠式 (フロント)	✓		クランクケース	✓	
ウィンドウブラインド		✓	ラジエータ	✓	
両側面に開閉式 (着色) ウィンドウ	✓		リアウィンドウ	✓	
ウィンドウワイパおよびウォッシャー、2段変速 (リア)	✓		その他		
テクノロジー			ベアリング給脂用の自動給脂装置		✓
CAT Detectスタビリティアシスト	✓		ベアシャーシ (ボディなし) 標準ホイールベース		✓
CAT PAYLOADモニタリングシステム		✓	ボディライナ		✓
オペレータコーチング機能		✓	寒冷地用クーラント (-51 °C (-60 °F) まで)		✓
Product Link (携帯電話PLE643)	✓		ボディヒーティング		✓
Product Link (デュアルPLE683)		✓	急速燃料給油システム		✓
オペレータIDによるプッシュスタート	✓		燃料添加剤 - ロウ化防止		✓
VisionLink	✓		ホイールアーチおよび本体取付け部、トランスポートーションタイバック	✓	
電気系統と照明			シザー型テールゲート		✓
メンテナンスフリーバッテリー (2個)	✓		S•O•S SM サンプリングバルブ	✓	
寒冷始動装置 (追加バッテリー2個)		✓	騒音低減パッケージ (一部の国では標準装備) *	✓	
日中用走行ライト	✓		タイヤ (23.5R25、ラジアル) 6本	✓	
LEDリアステップ灯	✓		タイヤ (750/65R25、ラジアル) 6本		✓
LEDリア作業灯		✓	盗難防止システム: ロック式キャップ	✓	
エンジンブロックヒータ		✓	車輪止め		✓
エーテル始動		✓			
電気系統: 24 V、5 A 24 V~12 V用コンバータ	✓				
点滅式LEDビーコン		✓			

* 該当国は、EU加盟国およびアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン、スイス、トルコ、英国です。

Cat® 725アーティキュレートトラック

技術仕様

エンジン

エンジンモデル	C13B	
定格出力(グロス) – SAE J1995	263 kW	352 hp
定格出力(ネット) – SAE J1349	257 kW	345 hp
エンジン出力 – ISO 14396	259 kW	347 hp
内径	130 mm	5.12 in
行程	157 mm	6.18 in
総行程容積(排気量)	12.5 L	763 in³

- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 公称出力は、1,700 rpmで試験した場合の値です。
- 定格出力(ネット)は、エンジンにオルタネータ、エアクリーナ、マフラが装着され、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られるものです。
- ファンが最高速度で回転している場合の定格出力(ネット)は、SAE基準条件では257 kW (345 hp) です。
- 米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、日本オフロード法2014年基準、韓国Stage Vの各排出ガス基準に適合しています。
- CAT SCRシステムで使用される尿素水(DEF, Diesel Exhaust Fluid)は、ISO 22241-1:2006に規定されている要件を満たしている必要があります。ISO 22241-1の要件には、AdBlue/API認証を受けた尿素水をはじめ、多くのブランドの尿素水が適合しています。

右記未満はエンジン出力低減なし	3,810 m	12,500 ft
ピークエンジントルク(グロス) (SAE J1995:2014)	1,941 N·m	1,431 lbf·ft
ピークエンジントルク(ネット) (SAE J1349:2011)	1,712 N·m	1,263 lbf·ft
ピークエンジントルク回転数	1,200 rpm	

質量

定格積載質量	24トン	26.5米トン
--------	------	---------

ボディ容量

山積みSAE 2:1	15 m³	19.6 yd³
平積み	11.5 m³	15 yd³
テールゲート(SAE 2:1山積み)	15.9 m³	20.8 yd³
テールゲート(平積み)	12 m³	15.7 yd³

トランスミッション

速度	km/h	mph
前進1速	8.0	5.0
前進2速	15.0	9.0
前進3速	22.0	14.0
前進4速	34.0	21.0
前進5速	47.0	29.0
前進6速	55.0	34.0
後進1速	9.0	6.0

規格

ブレーキ	ISO 3450:2011
キャブ/FOPS	ISO 3449:2005 Level II
キャブ/ROPS	ISO 3471:2008
ステアリング	ISO 5010:2019

騒音レベル

- キャブ内 69 ± 2 dB (A)
- 公示されている動作時の運転者音圧レベルは69 ± 2 dB (A) です。これは、ISO 6396:2008を適用し、密閉したキャブで測定した場合の値です。この測定は、冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。騒音レベルは、冷却ファン速度により異なる場合があります。この測定はキャブのドアとウィンドウを開めた状態で実施されています。キャブが適切に取り付けられ、整備されている状態で測定されました。
 - 長時間または騒音の激しい環境で、開放型の運転室やキャブで作業を行う場合、適切にメンテナンスがされていない場合、またはドア/ウィンドウが開いている状態で作業を行う場合は、聴力保護具が必要になることがあります。

運転質量

フロントアクスル - 空車時	14,260 kg	31,438 lb
センタアクスル - 空車時	4,540 kg	10,009 lb
リアアクスル - 空車時	4,310 kg	9,502 lb
合計 - 空車時	23,110 kg	50,949 lb
フロントアクスル - 定格積載質量	2,524 kg	5,564 lb
センタアクスル - 定格積載質量	10,738 kg	23,673 lb
リアアクスル - 定格積載質量	10,738 kg	23,673 lb
合計 - 定格積載質量	24,000 kg	52,911 lb
フロントアクスル - 積車時	16,784 kg	37,002 lb
センタアクスル - 積車時	15,278 kg	33,682 lb
リアアクスル - 積車時	15,048 kg	33,175 lb
合計 - 積車時	47,110 kg	103,860 lb

ボディプレートの厚さ

フロントプレート	7 mm	0.28 in
ベースプレート	13 mm	0.51 in
サイドプレート	11 mm	0.43 in
スカウプレート	13 mm	0.51 in

整備交換時の容量

燃料タンク	400 L	105.7 gal
冷却系統	83.0 L	21.9 gal
ステアリング/ホイスト油圧システム	123.0 L	32.5 gal
エンジンクランクケース	43.0 L	11.4 gal
トランスミッション	47.0 L	12.4 gal
アウトプットトランスファギヤ	25.0 L	6.6 gal
ファイナルドライブ(各)	125.0 L	33.0 gal
アクスル(各)	26/28/26 L	6/8/08 gal
尿素水タンク	34.0 L	9.0 gal

ボディホイスト

上昇時間	12秒
下降時間	8秒

AJXQ3699-00 (09-2025)
ビルド番号: 05A
(N Am、Europe、Aus-NZ、Japan)

